平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名　株式会社 ニフコ　　上場取引所　東
コード番号　7988　URL　http://www.nifco.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本　利行
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 本多　純二　TEL 03-5476-4850

四半期報告書提出予定日　平成24年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	33,768	25.2	2,802	17.4	2,693	21.9	1,256	16.8
24年3月期第1四半期	26,980	△8.3	2,385	△27.8	2,209	△29.9	1,076	△50.3

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　4,119百万円　(69.3%)　24年3月期第1四半期　2,432百万円　(△10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	23.72	―
24年3月期第1四半期	20.14	20.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	143,432	84,065	57.5	1,555.20
24年3月期	134,886	81,202	59.1	1,504.22

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　82,401百万円　24年3月期　79,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	22.00	―	23.00	45.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		23.00	―	23.00	46.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,000	8.5	5,000	△0.0	4,700	4.5	3,100	17.1	58.51
通期	130,000	5.8	12,500	22.1	12,000	19.3	7,000	2.1	132.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	53,754,477 株	24年3月期	53,754,477 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	769,666 株	24年3月期	786,811 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	52,976,050 株	24年3月期1Q	53,436,848 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記等 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間のわが国経済は、欧州の金融不安が懸念されるものの、東日本大震災からの復興需要や米国、中国を中心とした海外経済の持ち直し等から緩やかな景気拡大が続きました。

当社グループの主要顧客であります国内自動車メーカーにおきましては、昨年の震災の影響による減産から大幅な増産体制となり、政府景気刺激策と相俟って、生産、販売とも大幅に増加しました。また、海外自動車メーカーにおきましては、米国の景気回復やアジアでの生産、販売の伸びも見られ、総じて堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第１四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比25.2％増の337億６千８百万円となりました。

一方、利益面では、売上高の増加に伴う利益増があり、連結営業利益は前年同期比17.4％増の28億２百万円となりました。連結経常利益は前年同期比21.9％増の26億９千３百万円となり、連結四半期純利益は前年同期比16.8％増の12億５千６百万円となりました。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、昨年の震災の影響から、本年度は本格的な回復が見られ、減税やエコカー補助金と相俟って、国内販売は順調に推移しました。一方、海外でも韓国を始めとするアジアでの伸張、北米の景気回復など、総じて順調に推移しました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比27.9％増の293億７千８百万円となりました。営業利益も、販売の増加に伴い、前年同期比21.2％増の36億１千１百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、「シモンズベッド」としての高級ブランド戦略が奏功し、特に国内においては昨年に引き続き、順調に推移しました。この結果、当第１四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比11.6％増の38億２千９百万円となりました。営業利益につきましては、工場の稼働率の向上及び経費節減の効果もあり、前年同期比16.3％増の４億４千万円となりました。

③その他の事業

その他の事業は主に新聞及び出版事業であります。当第１四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は、メディアの多様化及び広告収入の減少により、前年同期比2.1％減の５億６千万円となりました。営業損失は原価低減活動により３千８百万円（前年同期の営業損失は５千６百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ85億４千５百万円増加して、1,434億３千２百万円となりました。主な増加要因は、有形固定資産の増加45億４千４百万円及び販売の増加に伴い受取手形及び売掛金が17億７千６百万円増加したことなどによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ56億８千１百万円増加し593億６千６百万円となりました。主な増加要因は、有形固定資産の増加等に伴う流動負債のその他の増加22億６千４百万円及び取引の増加に伴い支払手形及び買掛金が７億６千４百万円増加したことなどによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億６千３百万円増加し840億６千５百万円となりました。主な増加要因は、為替の円安により為替換算調整勘定が28億５千２百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

１ たな卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し前連結会計期間年度末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

２ 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

３ 繰延税金資産及び負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理の適用

税金費用の計上基準等

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,306	29,891
受取手形及び売掛金	27,793	29,570
有価証券	5,077	5,770
商品及び製品	7,487	8,063
仕掛品	1,916	1,979
原材料及び貯蔵品	3,279	3,609
繰延税金資産	901	872
その他	4,076	4,419
貸倒引当金	△75	△84
流動資産合計	79,764	84,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,831	15,183
機械装置及び運搬具（純額）	7,441	8,057
金型（純額）	2,298	2,529
工具、器具及び備品（純額）	2,018	2,171
土地	14,282	14,634
建設仮勘定	5,519	7,359
その他（純額）	11	10
有形固定資産合計	45,403	49,947
無形固定資産		
のれん	290	377
その他	914	1,330
無形固定資産合計	1,205	1,707
投資その他の資産		
投資有価証券	6,871	5,900
繰延税金資産	232	333
その他	1,550	1,470
貸倒引当金	△140	△18
投資その他の資産合計	8,513	7,686
固定資産合計	55,122	59,341
資産合計	134,886	143,432

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,848	14,613
1年内償還予定の社債	－	15,000
短期借入金	4,697	5,455
1年内返済予定の長期借入金	152	182
未払金	2,145	1,930
未払法人税等	1,076	1,513
賞与引当金	1,340	2,053
その他	5,393	7,657
流動負債合計	28,655	48,405
固定負債		
社債	15,000	－
長期借入金	6,967	7,581
繰延税金負債	692	748
退職給付引当金	1,900	2,014
その他	468	616
固定負債合計	25,028	10,960
負債合計	53,684	59,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	11,651	11,651
利益剰余金	74,604	74,639
自己株式	△1,770	△1,734
株主資本合計	91,775	91,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272	76
土地再評価差額金	△86	△86
為替換算調整勘定	△12,286	△9,434
その他の包括利益累計額合計	△12,100	△9,444
少数株主持分	1,527	1,664
純資産合計	81,202	84,065
負債純資産合計	134,886	143,432

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	26,980	33,768
売上原価	18,239	23,845
売上総利益	8,741	9,922
販売費及び一般管理費	6,355	7,120
営業利益	2,385	2,802
営業外収益		
受取利息	69	35
貸倒引当金戻入額	－	119
その他	102	105
営業外収益合計	171	260
営業外費用		
支払利息	76	98
為替差損	188	208
その他	83	62
営業外費用合計	348	369
経常利益	2,209	2,693
特別利益		
投資有価証券売却益	3	－
固定資産売却益	3	20
その他	1	1
特別利益合計	7	22
特別損失		
投資有価証券評価損	－	15
固定資産処分損	1	8
震災に伴う操業度差異	505	－
その他	4	0
特別損失合計	511	24
税金等調整前四半期純利益	1,705	2,690
法人税等	469	1,332
少数株主損益調整前四半期純利益	1,236	1,357
少数株主利益	160	101
四半期純利益	1,076	1,256
少数株主利益	160	101
少数株主損益調整前四半期純利益	1,236	1,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△195
為替換算調整勘定	1,221	2,957
持分法適用会社に対する持分相当額	1	－
その他の包括利益合計	1,196	2,761
四半期包括利益	2,432	4,119
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,256	3,912
少数株主に係る四半期包括利益	175	206

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	調整額（注2）	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注3）
	合成樹脂成形品事業	ベッド及び家具事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	22,975	3,432	26,408	572	－	26,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	23	△24	－
計	22,976	3,432	26,408	596	△24	26,980
セグメント利益又は損失（△）	2,979	378	3,358	△56	△916	2,385

（注）１． その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。
２． セグメント利益又は損失の調整額△916百万円は、全社費用△947百万円及びセグメント間取引消去31百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３． セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

（参考情報）
〔所在地別セグメント情報〕

（単位：百万円）

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	連結財務諸表計上額
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,665	9,136	3,445	1,733	26,980	－	26,980
(2) セグメント間の内部売上高	1,156	671	2	10	1,840	△1,840	－
計	13,821	9,808	3,447	1,743	28,821	△1,840	26,980
営業利益	1,077	1,611	321	130	3,141	△755	2,385

（関連情報）
〔地域ごとの売上高情報〕

（単位：百万円）

	日本	韓国	アジア(注2)	アメリカ	北米(注3)	欧州	その他	合計
売上高(注1)	12,689	3,416	5,612	2,949	636	1,648	28	26,980

（注）１.売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
２.アジアの数値は韓国の売上高を含んでおりません。
３.北米の数値はアメリカの売上高を含んでおりません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	調整額（注2）	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額（注3）
	合成樹脂成形品事業	ベッド及び家具事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	29,378	3,829	33,208	560	－	33,768
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	0	26	△27	－
計	29,379	3,829	33,208	587	△27	33,768
セグメント利益又は損失（△）	3,611	440	4,052	△38	△1,211	2,802

（注）１． その他には、新聞及び出版事業等を含んでおります。

２． セグメント利益又は損失の調整額△1,211百万円は、全社費用△1,085百万円及びセグメント間取引消去△126百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３． セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

（参考情報）

〔所在地別セグメント情報〕

（単位：百万円）

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去又は全社	連結財務諸表計上額
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,370	10,335	4,011	2,051	33,768	－	33,768
(2) セグメント間の内部売上高	1,229	953	5	3	2,192	△2,192	－
計	18,600	11,289	4,016	2,054	35,961	△2,192	33,768
営業利益	2,292	1,170	257	△69	3,650	△848	2,802

（関連情報）

〔地域ごとの売上高情報〕

（単位：百万円）

	日本	韓国	アジア(注2)	アメリカ	北米(注3)	欧州	その他	合計
売上高(注1)	17,262	4,157	6,210	3,402	726	1,969	38	33,768

（注）１.売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２.アジアの数値は韓国の売上高を含んでおりません。

３.北米の数値はアメリカの売上高を含んでおりません。